

中宮まぶね保育園

11月の葉だより

2021年11月1日発行

今年も残り2ヶ月となりました。朝晩の冷え込みが晩秋の訪れを感じさせてくれます。先般開催した各クラスの懇談会にはご多忙の中、たくさんの方のご参加をいただきありがとうございました。コロナ禍でなかなか集まってお話をすることが少なかったのですが、今回の懇談会でいろいろとお話も聞いて良い機会であったと思っています。また、先日開催された幼児クラス運動会、今年もコロナ禍の中での入れ替え制での開催となりましたが、子どもたちの元気な姿を見ることができました。例年、運動会が終わると子どもたちの顔が少したくましくなったような気がします。一回り成長した子どもたちが、これからどんな姿を見せてくれるか、コロナ禍でなかなか気持ちが晴れない世の中ですが、子供たちは元気にたくましく成長しています。子どもたちの未来はきっと明るいです。

中宮まぶね保育園 園長 松尾 太郎

保育参加(参観)について

日時: 11月中の平日のみ(実施できない日もあります)・午前9時~12時の間
人数: お子様1人につき、保護者1名のみ・1回限りとします。1クラス、1日3名まで
※各クラスに参加表を貼り出しますのでご記入ください。

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	
	発育測定	文化の日		ダンス教室	運動会予備日	
7	8	9	10	11	12	13
	体育あそび教室	布団乾燥 運動会予備日 英語あそび教室	やきいも大会		ヤクルト健康教室	
14	15	16	17	18	19	20
	体育あそび教室	幼児遠足 (雨天18日)			ダンス教室	
21	22	23	24	25	26	27
	体育あそび教室	勤労感謝の日	誕生日会 太鼓教室 無料法律相談		ダンス教室	
28	29	30				
	体育あそび教室	布団乾燥 英語あそび教室				

☆苦情解決委員会☆
◎苦情解決責任者 松尾 太郎
◎苦情解決窓口担当 山本 真理子
◎苦情解決第三者委員
申 英子・笹野 芳照・畑 健次郎
※意見箱は玄関ホールに設置、園に対する苦情やご質問・ご要望等を受け付けております。又、子育てやそれらに関するご相談も随時受け付けております。

《法人の理念》
本法人の理念「隣人愛」の精神に基づいて福祉サービスを必要とするすべての人に仕え、日常を支援し、常に人々の人権を護り、その人の尊厳を尊重します
《保育園がめざす子ども像》
◆自分で考え意欲を持って行動する子ども
◆相手を思いやることのできる子ども
◆健康で生き生きと遊べる子ども
◆豊かな感性を持ち、力いっぱい表現する子ども

社会福祉法人 日本コイノニア福祉会
中宮まぶね保育園
〒573-0011 枚方市中宮山戸町15-1
Tel./072-840-2780 fax/072-840-3212
E-mail nakamiya-encyo@koinonia.or.jp
URL <http://www.koinonia.or.jp/nakamiya/>

11月生まれのおともだち

- ほたる組 (1歳になります)
- てんとう組 (4歳になります)
- ちょうちょ組 (2歳になります)
- こおろぎ組 (3歳になります)
- みつばち組 (5歳になります)
- とんぼ組 (6歳になります)



運動会準備中

乳児クラスは運動会の代わりに、うんどうつかいごっこで盛り上がりました。お山登りや鉄棒ぶら下がり、かけっこや体操等、入園からこれまでの成長をたくさん見せてくれました。上手に出来た子ども、出来なかった子ども、今の力で精一杯がんばりました。キラキラのメダルをもらって、みんなニコニコ笑顔がいっぱいでした。

【今月の聖書の言葉】

「私の恵みはあなたに十分である」
(コリントの信徒への手紙Ⅱ 12章9節)

実りの秋になりました。お芋ほりやみかん狩りなどが楽しい季節です。様々な野菜や果物を目の前にすると「私(神様)の恵みは十分である」という聖書の言葉が浮かんできます。けれども、いつでもそのようなことを考えられるわけではありません。色々なことが起こる日々の中では、「こんなはずじゃなかったのに」「どうしてこんなことが起きるの」と言いたくなることの方が多いのではないのでしょうか。身近にあるたくさんの恵みに感謝できず、足りないことにばかり目が向いてしまいます。そんな私たちも、例えば病気など何か困難にあうと、それまで何とも思っていなかったことが、急に大切なものに見えるようになることがあります。また自分が弱くなって初めて聞こえてくる声もあります。今まで「何もない」と思っていたところにも確かにある神様の恵み。それらに気付いた時、私たちの世界はまた広がっていくのではないのでしょうか。また普段は恥ずかしかったり、何事も自分でがんばらないといけないと思っていて、なかなか人に相談したりすることができないかもしれません。けれど、思い切って「実は困っています」と声を出してみることで、そこから新しい道が開けることもあります。保育園には豊かな経験を持った先生たちがいますし、たとえすぐには解決しなくても、悩みは一人で抱えるよりも、二人三人で一緒に抱える方が楽になります。そしてそのような輪の中にも、共にいて下さっている神様の恵み・働きを、私たちは感じる事ができるのではないかと思います。

(チャプレン・牛田匡)

お知らせ

あたらしいおともだち
実習生のお知らせ
8日~20日の期間、4名の実習生がそれぞれ各クラスに入ります。